科目名	生理機能検査学特論	分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位

担当教員	◎准教授　増山里枝子　　准教授　咲間妙子　　講師　崎原ことえ					科目ナンバー	T4C201
課程	博士後期	配当年次	1～2年	配当学期	通年	授業方法	演習

授業の概要	生体の働きをシステムとして理解するため、生理検査学に立脚して生理機能を解析する教育研究を行う。同時に、実際の症例に即した検討に基づき、さまざまな疾患において生体の高次システム機能の評価を非侵襲的かつ有効に実施するための生体機能検査法の開発、改良に関する教育研究を行う。
授業の到達目標	①神経系・筋肉系・感覚器系・循環器系など、生体の各器官が保持する臓器特性を説明できる。 ②循環器疾患についての知識を有している。 ③多機能脳波計測・解析法について説明できる。 ④睡眠障害についての知識を有している。 ⑤研究デザインについての知識を有している。

授業計画

回数	担当者		行動目標
1	増山里枝子	准教授	動脈硬化性疾患について説明できる。 KW:虚血性心疾患、脳血管疾患、末梢動脈疾患
2	増山里枝子	准教授	静脈性疾患について説明できる。 KW:静脈血栓塞栓症
3	崎原ことえ	講　師	多機能脳波計測・解析法について説明できる。(1) KW:FFT, パワースペクトラム, 高周波振動
4	崎原ことえ	講　師	多機能脳波計測・解析法について説明できる。(2) KW:トポグラフィー, DC脳波
5	崎原ことえ	講　師	多機能脳波計測・解析法について説明できる。(3) KW:信号源推定
6	崎原ことえ	講　師	多機能脳波計測・解析法について説明できる。(4) KW:経頭蓋磁気刺激, 脳血流
7	崎原ことえ	講　師	多機能脳波計測・解析法について説明できる。(5) KW:ニューロフードバック, BCI
8	咲間　妙子	准教授	睡眠障害について説明できる。 KW:ナルコレプシー、特発性過眠症
9	咲間　妙子	准教授	睡眠障害について説明できる。 KW:パラソムニア、睡眠関連運動障害
10	咲間　妙子	准教授	睡眠障害について説明できる。 KW:睡眠関連呼吸障害
11	咲間　妙子	准教授	睡眠検査について説明できる。 KW:終夜ポリソムノグラフィ
12	咲間　妙子	准教授	アウトカムの選び方、臨床研究デザインについて説明できる。 KW:臨床、専門的知識、研究デザイン、倫理指針
13	増山里枝子	准教授	観察研究の報告ガイドラインについて、説明できる。 KW:STROBE
14	増山里枝子	准教授	観察研究におけるバイアス評価について説明できる。 KW:ACROBAT-NRSI
15	増山里枝子	准教授	診断法評価法とその指針について説明できる。 KW:STARD

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	随時　指示する。
参考書	随時　指示する。
成績評価の方法および基準	口頭試問80%、レポート20%で評価する。
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。